

武蔵丘 高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科： 国語 科目： 言語文化 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 8 組

使用教科書： （ 第一学習社『精選 言語文化』 ）

使用教材： 『十訂版 体系古典文法』数研出版 『四訂版 体系古典文法 準拠ノート』数研出版 『わかる・読める・解ける古文単語330』いっぴぐ書店  
『必携新明説漢文』尚文出版 『必携新明説漢文ノート』尚文出版 『古典文法完全マスターノート 用言編、助動詞編』第一学習社

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。  
【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもつ、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
近現代の小説（1） 【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、その文化的背景を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「夢」という非日常性を持った世界において、「自分」は何を判断の根拠としているかを読み解く。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとする。 ・「夢」という設定の中での判断やその根拠を捉え、内容及び作品世界を解釈して説明しようとする。	・「夢」という非日常性を持った世界において、「自分」は何を判断の根拠としているかを読み解く。 ・教材…夢十夜 第一夜（夏目漱石） ・一人1台端末の活用 等	○			【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、その文化的背景を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「夢」という非日常性を持った世界において、「自分」は何を判断の根拠としているかを読み解いている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。 ・「夢」という設定の中での判断やその根拠を捉え、内容及び作品世界を解釈して説明しようとしている。	○	○	○	4
古典文学 説話（1） 【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを理解する。 ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合う。	・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを理解する。 ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・教材…児のそら寝 ・一人1台端末の活用 等	○			【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを理解している。 ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合おうとしている。	○	○	○	3
訓読に親しむ 【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。	・漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方を習得する。 ・漢文を訓読するための基礎知識として、助字のはたらきと意味を習得する。 ・漢文を訓読するための基礎知識として、再読文字の種類と読み方を習得する。 ・故事成語や格言に多く触れるこ				【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方、助字のはたらきと意				

一学期

<p>【思考力、判断力、表現力等】 ・漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方、助字のはたらきと意味、再読文字の種類と読み方を習得する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・これからの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につける。</p>	<p>とにより、語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 ・訓読のきまりを理解する。</p> <p>・教材 訓読に親しむ漢文を読むために ・一人1台端末の活用 等</p>			<p>味、再読文字の種類と読み方を習得する。</p> <p>○ 【学びに向かう力、人間性等】 これからの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につける。</p>				5
<p>定期考査</p>								1
<p>近現代の詩</p> <p>【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・文語で書かれた詩のリズムや表記の特徴を理解し、作品にこめられた作者の心情を捉える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・繰り返し音読し、積極的に詩のリズムを理解する。 ・描かれた情景を読み取り、進んで作者の心情について話し合う。</p>	<p>・文語で書かれた詩のリズムや表記の特徴を理解し、作品にこめられた作者の心情を捉える。 ・情景にこめられた孤独感など、作品に表れているものを見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</p> <p>・教材…贅のうへ ・一人1台端末の活用 等</p>			<p>○ 【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・文語で書かれた詩のリズムや表記の特徴を理解し、作品にこめられた作者の心情を捉えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・繰り返し音読し、積極的に詩のリズムを理解しようとしている。 ・描かれた情景を読み取り、進んで作者の心情について話し合おうとしている。</p>				2
<p>古典文学 説話（2）</p> <p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の文章に慣れるとともに、古文における人物造形のおもしろさを読み取る。 ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものを見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に説話を読み、叙述に基づいて人物造形のおもしろさを捉える。</p>	<p>・古典の文章に慣れるとともに、古文における人物造形のおもしろさを読み取る。 ・説話から良秀の特異な言動を読み取り、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として品詞の種類について、文語のきまりを理解する。</p> <p>・教材…絵伝師良秀 ・一人1台端末の活用 等</p>			<p>○ 【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の文章に慣れるとともに、古文における人物造形のおもしろさを読み取っている。 ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に説話を読み、叙述に基づいて人物造形のおもしろさを捉えようとしている。</p>				4
<p>故事成語</p> <p>【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを理解する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめる。</p>	<p>・漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。 ・文章の種類を踏まえて、たとえ話を読み解き、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・訓読のきまりを理解する。 ・故事成語の由来となった話を読み、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。</p> <p>・教材 漁父之利 狐借虎威、蛇足等 ・一人1台端末の活用 等</p>			<p>○ 【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを理解している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめようとしている。</p>				4
<p>定期考査</p>								1
<p>近現代の韻文</p> <p>【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。</p>	<p>・我が国の伝統文化の一つである短歌の鑑賞のしかたを理解し、近代を代表する歌人の作品を味わう。 ・作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</p>			<p>○ 【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p>				

	<p>の伝承としての意味について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の伝統文化の一つである短歌の鑑賞の仕方を理解し、近代を代表する歌人の作品を味わう。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>短歌の形式や表現を進んで理解し、学習の見通しをもって短歌文芸に親しむ。</li> <li>作品に表れている情景や心情を鑑賞し、自分のものの見方、感じ方を積極的に豊かにする。</li> </ul>	<p>・「夢」に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の言語文化に特徴的な、短歌の表現の技法とその効果について理解する。</li> </ul> <p>・教材…その子二十</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	○	○	<p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の伝統文化の一つである短歌の鑑賞の仕方を理解し、近代を代表する歌人の作品を味わっている。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>短歌の形式や表現を進んで理解し、学習の見通しをもって短歌文芸に親しもうとしている。</li> <li>作品に表れている情景や心情を鑑賞し、自分のものの見方、感じ方を積極的に豊かにしようとしている。</li> </ul>	○	○	○	2
	<p>近現代の小説</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、その文化的背景を理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「夢」という非日常性を持った世界において、「自分」は何を判断の根拠としているかを読み解く。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとする。</li> <li>「夢」という設定の中での判断やその根拠を捉え、内容及び作品世界を解釈して説明しようとする。</li> </ul>	<p>・「夢」という非日常性を持った世界において、「自分」は何を判断の根拠としているかを読み解く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教材…夢十夜 第六夜（夏目漱石）</li> <li>一人1台端末の活用 等</li> </ul>	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、その文化的背景を理解している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「夢」という非日常性を持った世界において、「自分」は何を判断の根拠としているかを読み解いている。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。</li> <li>「夢」という設定の中での判断やその根拠を捉え、内容及び作品世界を解釈して説明しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	4
	<p>古典文学 歌物語</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。</li> <li>古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。</li> <li>歌物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉える。</li> </ul>	<p>・話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歌物語では感動の中心が歌にあることを理解し、内容や展開を的確に捉える。</li> <li>作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</li> <li>「東下り」では課題に応じて調査する。</li> <li>「芥川」では絵画資料と、「東下り」では他の章段と、「筒井筒」では『大和物語』の同話と、それぞれ読み比べ、解釈を深める。</li> <li>語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</li> <li>「歴史の窓」と「筒井筒」の課題を踏まえて、作品の歴史的・文化的背景を理解する。</li> <li>主として用言の活用について、文語のきまりを理解する。</li> </ul> <p>・教材…伊勢物語 〔歴史の窓〕</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解している。</li> <li>歌物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えようとしている。</li> </ul>	○	○	○	6
二学期	<p>漢文学 史伝</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにする。</li> <li>我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。</li> <li>古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深める。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>戦国時代を背景とした国の状況を知るとともに、郭隗が用いた論理の巧みさを読み解く。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に史伝の特徴を理解し、たとえ話における論理を説明する。</li> </ul>	<p>・史伝という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>戦国時代を背景とした国の状況を知るとともに、郭隗が用いた論理の巧みさを読み解く。</li> <li>作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。</li> <li>訓読のきまりを理解する。</li> <li>「先従隗始」の由来と現代の意味の違いを知り、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。</li> </ul> <p>・教材 先従隗始（十八史略）等</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。</li> <li>古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>戦国時代を背景とした国の状況を知るとともに、郭隗が用いた論理の巧みさを読み解いている。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に史伝の特徴を理解し、たとえ話における論理を説明しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	4
	<p>定期考査</p>					○	○		1

<p>近現代の小説(3)</p> <p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、その文化的背景を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとする。 ・老婆の語る論理を、叙述を基に読み解き、学習課題に沿って、下人がどのように判断したか、説明しようとする。</p>	<p>・下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。 ・教材…羅生門(芥川龍之介) ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>○ ○</p>	<p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、その文化的背景を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取っている。 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。 ・老婆の語る論理を、叙述を基に読み解き、学習課題に沿って、下人がどのように判断したか、説明しようとしている。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>6</p>
<p>古典文学 随筆</p> <p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自由に記述された随筆を読んで、当時の人々の生活感覚や興味の対象を知り、ものの見方・考え方を理解する。 ・随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・本文中に表れた作者の批評・教訓・感動などを積極的に読み取り、考えたことを伝え合う。</p>	<p>・自由に記述された随筆を読んで、当時の人々の生活感覚や興味の対象を知り、ものの見方・考え方を理解する。 ・自由な文体の随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・「歴史の窓」と読み合わせて、作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・主として助動詞について、文語のきまりを理解する。 ・教材…枕草子、徒然草 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>○ ○</p>	<p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自由に記述された随筆を読んで、当時の人々の生活感覚や興味の対象を知り、ものの見方・考え方を理解している。 ・随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・学習の見通しをもって随筆のさまざまな文体や取り上げられた対象に触れ、進んで解釈を深めようとしている。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>6</p>
<p>漢文学 論語〔歴史の窓〕</p> <p>【知識及び技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日本にも大きな影響を及ぼした『論語』について知り、孔子のものの見方や考え方を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・孔子について興味をもち、図書館の資料などを用いて、そのエピソードを調べる。</p>	<p>・日本にも大きな影響を及ぼした『論語』について知り、孔子のものの見方や考え方を理解する。 ・文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・孔子のエピソードを調べて文章にまとめる課題に応じて調査する。 ・訓読のきまりを理解する。 ・古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 ・教材 論語〔歴史の窓〕 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>○</p>	<p>【知識及び技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日本にも大きな影響を及ぼした『論語』について知り、孔子のものの見方や考え方を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・孔子について興味をもち、図書館の資料などを用いて、そのエピソードを調べようとしている。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>2</p>
<p>定期考査</p>				<p>○ ○</p>	<p>1</p>
<p>漢文学 唐詩</p> <p>【知識及び技能】 ・表現の技法とその効果について理解する。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・表現や技法(押韻や対句)に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く漢詩を読み比べ、よまれた情景や心情を説明しようとしている。</p>	<p>・表現や技法(押韻や対句)に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取る。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・漢詩のきまりを理解する。 ・教材 唐詩の世界 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>○</p>	<p>【知識及び技能】 ・表現の技法とその効果について理解している。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・表現や技法(押韻や対句)に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く漢詩を読み比べ、よまれた情景や心情を説明しようとしている。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>3</p>



**武蔵丘 高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 地理歴史 科目 地理総合**

教科： 地理歴史 科目： 地理総合 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

使用教科書：（ 高等学校 新地理総合 帝国書院 ）

教科 地理総合 の目標：

【知識及び技能】地理の基礎的な知識を身につけ、地図や地理情報システム（GIS）を使うことができる。

【思考力、判断力、表現力等】現代の世界の諸課題、また地域の諸課題に対して、地理的な見方を身につけ、考察できる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】地理総合で学んだ知識や地図、地理情報システム（GIS）使って、自ら設定した課題の解決に取り組もうと

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理の基礎的な知識を身につけ、地図や地理情報システム（GIS）を使うことができる。	現代の世界の諸課題、また地域の諸課題に対して、地理的な見方を身につけ、考察できる力を養う。	地理総合で学んだ知識や地図、地理情報システム（GIS）使って、自ら設定した課題の解決に取り組もうとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>時差の計算方法や、世界地図の種類などの地理の基本的な知識を身につける。</li> <li>世界の自然環境と人々の暮らしについて、理解する。</li> <li>地理情報システムの使い方などを理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地図の情報や、自然環境から日本と世界の違いや共通点を見いだす。</li> <li>地理情報システムから地域の課題などに気付く。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地理で学んだことを活かして、活用する。</li> <li>世界情勢や地域の出来事に地理の知識を活用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地図でとらえる現代世界</li> <li>・緯度経度</li> <li>・世界地図の種類</li> <li>・国家と国境</li> <li>○生活文化の多様性と国際理解</li> <li>・生活文化の多様性</li> <li>・世界の地形と人々の生活</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時差の計算や、世界地図の種類など地理の基礎的な知識を理解している</li> <li>・地理情報システムの基本的な扱い方について、理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題やワークを通して、世界と日本の地理的な違いや共通点を見いだせている。</li> <li>・地理情報システムを活用して、世界や自分の地域の課題を発見している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で学んだ内容を日常生活などで活用しようとしている。</li> </ul>	○	○	○	12
	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>世界の気候や宗教の違いにやる生活文化の違いについて、理解する。</li> <li>各地の特色と基本的な知識について理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>気候や宗教の違いがどのように人々の生活に影響を与えるかについて見出せる。</li> <li>各宗教や気候の違いや共通点について見出せる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本と世界の違いや共通点を宗教や機構の観点から見いだそうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○世界の気候と人々の生活</li> <li>・オセアニア</li> <li>・東南アジア</li> <li>○世界の宗教と人々の生活</li> <li>・イスラーム地域</li> <li>・インド</li> <li>・ヨーロッパ</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の気候や宗教の違いにやる生活文化の違いについて理解している。</li> <li>・各地の特色と基本的な知識について理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気候や宗教の違いがどのように人々の生活に影響を与えるかについて説明できる。</li> <li>・各宗教や気候の違いや共通点について気付く、表現できる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本と世界の違いや共通点を宗教や機構の観点から見いだそうとしている。</li> </ul>	○	○	○	14
	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>代表的な地域の歴史背景のの基本的な知識を身につける。</li> <li>植民地支配、国家体制が人々に与える影響について、理解する。</li> <li>各地域の農業、工業、知的産業について理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歴史的出来事が人々の生活にどのように影響しているか考察する。</li> <li>工業立地など地域の産業がなぜ発展しているかを考える。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地理で学んだことを活かして、活用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○歴史背景と人々の生活</li> <li>・ラテンアメリカ</li> <li>・アフリカ</li> <li>・ロシア</li> <li>○世界の産業と人々の生活</li> <li>・アメリカ</li> <li>・東アジア</li> <li>・ヨーロッパ</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・代表的な地域の歴史背景のの基本的な知識を理解している。</li> <li>・植民地支配、国家体制が人々に与える影響について理解している。</li> <li>・各地域の農業、工業、知的産業の基本的な知識が身につけている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的出来事が人々の生活にどのように影響しているか考察できる。</li> <li>・工業立地などの条件と産業の発展について地理的な説明ができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な世界の歴史的背景を知って、自分事のようにとらえようとしている。</li> </ul>	○	○	○	14
2 学 期	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>様々な地球課題の基本的な知識を身につける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地球課題と国際協力</li> <li>・環境問題</li> <li>・資源問題</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な地球課題の基本的な知識について</li> </ul>				

	<p>身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地球的課題に対して、日本や世界がどのような取り組みをしているかを理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な社会づくりに向けて自分の立場を示す。</li> <li>・地球的課題のの原因について考察する。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な社会づくりのため自分ができることを見つける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資源問題</li> <li>・エネルギー問題</li> <li>・人口問題</li> <li>・食糧問題</li> <li>・先進国と後進国</li> <li>・居住問題</li> </ul>	<p>理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地球的課題への日本や世界の取り組みについて理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで学習した事を踏まえて持続可能な社会づくりに向けて自分の立場を示している。</li> <li>・地球的課題のの原因について考察できている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な地球的課題を自分事として捉えている。</li> </ul>	○	○	○	14
3 学 期	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地震・津波など日本の自然環境について基本的な知識を身につける</li> <li>・防災に対しての基本的な取り組みを理解する</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な地域の課題を発見し、調査を行う。</li> <li>・調査結果に対してまとめと発表を行う。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災に対する意識を持ち、日本の防災対策について関心を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自然災害と防災</li> <li>・日本の自然環境</li> <li>・地震・津波と防災</li> <li>・火山災害と防災</li> <li>・気象災害と防災</li> <li>・自然災害への備え</li> </ul> <p>【グループワーク学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チームで身近な地域を調査し、まとめや発表を行う。</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の自然環境や災害状況についての基本的な知識が身につけている。</li> <li>・防災への基本的な取り組みについて理解している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な地域に関して自ら課題を設定し、調査や発表の方法について提案できる。</li> <li>・まとめ方や発表の仕方を工夫している。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チームで協力して、防災に対する意識を高めている。</li> </ul>	○	○	○	16
							合計
							70

**武蔵丘 高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 地理歴史 科目 歴史総合**

教科： 地理歴史 科目： 歴史総合 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 8 組

使用教科書： ( 明解 歴史総合(帝国書院) )

教科 地理歴史 の目標： 社会的事象の歴史的新見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。

【思考力、判断力、表現力等】 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などに着目して、多面的・多角的に考察する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、主体的に追究、解決しようとする態度を養う。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
知識：近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。 技能：諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
【知識・技能】 大航海時代以降の植民地の獲得によって、ヨーロッパ諸国が重商主義で経済を発展させたことを理解させる。 【思考・判断・表現】 産業革命による工業化や交通革命・通信革命などの変化、軍事技術の発展などによって西ヨーロッパを中心とした植民地支配が一層拡大したことを考察させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 産業革命による人々の生活の変化を追究させる。	①産業革命にいたるヨーロッパ経済の大きな流れを理解する。 ②産業革命によるヨーロッパ各国内の変化や、世界的な影響について考察する。	【知識・技能】 大航海時代以降の植民地の獲得によって、ヨーロッパ諸国が重商主義で経済を発展させたことを理解している。 【思考・判断・表現】 産業革命による工業化や交通革命・通信革命などの変化、軍事技術の発展などによって西ヨーロッパを中心とした植民地支配が一層拡大したことを考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 産業革命による人々の生活の変化を追究しようとしている。	○	○	○	5
【知識・技能】 アメリカ独立革命とフランス革命の原因とその経過について理解させる。 【思考・判断・表現】 ・アメリカ独立革命がその後の世界に与えた影響を比較しながら、多面的・多角的に考察し、表現できるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 アメリカ独立革命とフランス革命によってうみ出された理念や考え方について追及できるようにする。	①七年戦争の勝利後におけるイギリスの北アメリカ植民地の拡大と変遷を理解する。 ②アメリカ独立革命とその理念を理解し、その後の世界に与えた影響を考察する。	【知識・技能】 アメリカ独立革命とフランス革命の原因とその経過について理解している。 【思考・判断・表現】 ・アメリカ独立革命がその後の世界に与えた影響を比較しながら、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 アメリカ独立革命とフランス革命によってうみ出された理念や考え方について追究しようとしている。	○	○	○	8
定期考査			○	○		1
【知識・技能】 「東方問題」に関係する国々と、問題に対する各国の論理を理解している。イギリスがスエズ運河株式会社株の獲得や民族運動の弾圧を通して、エジプトを段階的に植民地化したことを理解できるようにする。【思考・判断・表現】 オスマン帝国による改革とその限界について考察している。イギリスがフランスやインドの諸勢力との戦いによって、インドを段階的に植民地化した過程を考察し、表現できるようにする。【主体的に学習に取り組む態度】 東南アジアにおける今日のあり方と植民地化の歴史について追及できるようにする。	①「東方問題」とはどのような問題であるかをとらえ、その概要を理解する。 ②イギリスによるエジプト進出の全体像を把握し、その過程について理解する。 ③オスマン帝国がおこなった改革の内容を理解し、その改革がどのような結果をもたらしたのかについて考察する。 ④イギリスによるインド植民地化の全体像を把握し、その過程について理解する。 ⑤ヨーロッパ列強による東南アジア植民地化の全体像を把握し、その過程について理解する。	【知識・技能】 「東方問題」に関係する国々と、問題に対する各国の論理を理解している。イギリスがスエズ運河株式会社株の獲得や民族運動の弾圧を通して、エジプトを段階的に植民地化したことを理解している。【思考・判断・表現】 オスマン帝国による改革とその限界について考察している。イギリスがフランスやインドの諸勢力との戦いによって、インドを段階的に植民地化した過程を考察し、表現している。【主体的に学習に取り組む態度】 ・エジプトとインドにおけるイギリスの植民地化の過程を比較し、共通する点や構造を見出そうとしている。 ・東南アジアにおける今日のあり方と植民地化の歴史について追究しようとしている。	○	○	○	8
定期考査			○	○		1

<p>【知識・技能】中国が欧米列強と結んだ不平等条約の内容とその結果について理解することができる。開国を転換点として、江戸幕府と朝廷・諸大名の関係に変化が生じたことを理解することができる。【思考・判断・表現】太平天国の乱後の中国における改革とその限界について考察することができる。開国によって世界と結びついたことによる江戸幕府や諸藩における知識・技術の受容と、日本と欧米諸国とのあいだの貿易の特徴を考察することができる。【主体的に学習に取り組む態度】開国後の欧米列強との貿易における中国と日本の輸出入品から、共通点や相違点を見出すことができる。</p>	<p>①アヘン戦争・第2次アヘン戦争（アロー戦争）によって、イギリスをはじめとした欧米列強に、中国が半植民地化されていく過程を理解する。 ②19世紀半ばの中国をゆるがした太平天国の乱と、それに続く清朝の改革のあり方について考察する。 ③欧米諸国の通商要求に対する江戸幕府の対応を理解し、開国にいたる経緯を理解する。 ④ペリー来航後、朝廷・諸大名の発言力が増大し、江戸幕府の政治が動揺していった変動の様相を理解する。 ⑤開国後、日本では欧米の知識・技術の受容がいつそう進んだことを理解するとともに、日本と欧米諸国とのあいだでおこなわれた貿易の特徴を考察する。 ⑥19世紀末の朝鮮国内の動きに対して、日本と清がどのように関与したか、また朝鮮をめぐる両国が対立するに至った過程について理解する。 ⑦条約改正が成功した国際的な背景を理解し、その交渉経過や、締結された条約内容について考察する。 ⑧日清戦争がおこった背景を理解し、戦争の推移・結果や、その後の日本と清・朝鮮に対する影響について考察する。 ⑨日清戦争後の国内政治について、政府と政党の動きに注目しながら、その特徴を理解する。</p>	<p>【知識・技能】中国が欧米列強と結んだ不平等条約の内容とその結果について理解している。開国を転換点として、江戸幕府と朝廷・諸大名の関係に変化が生じたことを理解している。【思考・判断・表現】太平天国の乱後の中国における改革とその限界について考察している。開国によって世界と結びついたことによる江戸幕府や諸藩における知識・技術の受容と、日本と欧米諸国とのあいだの貿易の特徴を考察している。明治政府の条約改正の展開が、清を中心とした東アジアの国際関係にどのような影響を与えたのか理解している。日清戦争の原因・過程・結果を年表にまとめている。日清戦争後に政府が軍備拡張と産業育成を進めるにあたり、政党がどのように対応したかを理解している。日本が、朝鮮・清に対してどのような過程を経て条約を締結したかを表現している。条約改正の背景や要因について、多面的・多角的に考察している。日清戦争後の、政府と政党の動きについてその推移を考察している。【主体的に学習に取り組む態度】開国後の欧米列強との貿易における中国と日本の輸出入品から、共通点や相違点を見出そうとしている。幕末の動乱と欧米諸国との関係について、事件を整理しながら追究しようとしている。山県有朋首相の演説や「脱亜論」の史料を読み、その内容を比較して、相違点や共通点を具体的に追究しようとしている。日清戦争の原因・過程・結果を考察し、その後の日本の台湾・朝鮮の統治について追究しようとしている。</p>	○	○	○	20
<p>【知識・技能】第2次産業革命の概要を理解し、その後の経済活動にあたえた影響を理解することができる。帝国主義について、イギリス・フランス・ドイツ・ロシア・アメリカのそれぞれの経済・政治上の動向をまとめることができる。【思考・判断・表現】第2次産業革命の内容を理解し、どのように展開したかを考察している。帝国主義の生まれた背景や進展について、主要国の動向を考察し、表現することができる。【主体的に学習に取り組む態度】帝国主義の時代が、世界の一体化を進めたことについて、過程・結果、そしてその後の現代にいたる影響について深く、追究することができる。</p>	<p>①第2次産業革命の概要を年表にまとめ、それがどのように世界を変化させていったのかを理解する。 ②帝国主義とは、どのような状況で、どのようにして生まれたのか、その後の世界にどのような影響を与えたかを理解する。 ③パクス=ブリタニカの時代が終焉をむかえ、鉄鋼生産量などにおいてイギリスがアメリカやドイツに抜かれていった過程を考察する。 ④後発国であるドイツが工業化などにより急速にその力を強め、イギリスやフランスをおびやかす存在となっていた過程を考察する。 ⑤アメリカ合衆国が工業力で世界第1位となり、帝国主義的な政策によって領土を拡大していった過程を考察する。 ⑥スエズ運河やパナマ運河が開通して、世界の一体化が急速に進展していった過程を考察する。</p>	<p>【知識・技能】第2次産業革命の概要を理解し、その後の経済活動にあたえた影響を理解している。帝国主義について、イギリス・フランス・ドイツ・ロシア・アメリカのそれぞれの経済・政治上の動向をまとめている。【思考・判断・表現】第2次産業革命の内容を理解し、どのように展開したかを考察している。帝国主義の生まれた背景や進展について、主要国の動向を考察し、表現している。【主体的に学習に取り組む態度】帝国主義の時代が、世界の一体化を進めたことについて、過程・結果、そしてその後の現代にいたる影響について深く、追究しようとしている。</p>				15
<p>【知識・技能】二・二六事件のおこった背景・過程について考察したうえで、その後の政府・軍部の動向を理解することができる。日中戦争のおこった背景・過程について理解している。第二次世界大戦のおこった背景を理解し、ヨーロッパ諸国がどのような影響を受けたのかまとめている。国内の人びとの生活や、中国・朝鮮から動員された人びとの生活がどうであったか理解している。【思考・判断・表現】二・二六事件、日中戦争、三国同盟にいたる時期を年表にまとめて、その動向を表現している。その時期の、日本の国内生</p>	<p>①二・二六事件がおこった背景を考察し、その後の政治や軍部の動きの推移について理解する。 ②日中戦争がおこった背景を理解し、その後の国際社会に与えた影響を考察する。 ③日本が中国に侵攻して、軍がどのような行動をとっていたか理解し、中国の人々にはどのような影響を受けたかについて考察する。 ④三国同盟がどのようにして締結されたか理解する。また、国内生</p>	<p>【知識・技能】二・二六事件のおこった背景・過程について考察したうえで、その後の政府・軍部の動向を理解している。日中戦争のおこった背景・過程について理解している。第二次世界大戦のおこった背景を理解し、ヨーロッパ諸国がどのような影響を受けたのかまとめている。国内の人びとの生活や、中国・朝鮮から動員された人びとの生活がどうであったか理解している。【思考・判断・表現】二・二六事件、日中戦争、三国同盟にいたる時期を年表にまとめて、その動向を表現している。その時期の、日本の国内生</p>				

3 学 期	<p>のつくりを理解することが出来る。</p> <p>【思考・判断・表現】二・二六事件、日中戦争、三国同盟にいたる時期を年表にまとめて、その動向を表現することができる。この時期の、日本の国民生活の変化について考察することができる。日本とアメリカの対立の背景を、日米関係を基軸にして、多角的に表現している。日米の主要物資の生産高を比較して、日米の差がどのくらいあったのかを考察し、表現している。【主体的に学習に取り組む態度】日中戦争の長期化は、日中両国の人びとや国際社会にどのような影響をもたらしたのか、多面的・多角的に追究しようとしている。三国同盟の締結が、イギリス・アメリカに対して与えた影響について追究しようとしている。第二次世界大戦の終結にいたる連合国側の会議について時系列にその内容を追究しようとしている。第二次世界大戦の結果、国際社会はどのように変化していくことになるかその嚆矢について追究しようとしている。</p>	<p>されることが出来る。また、国民生活にどのような変化・影響があったのか、新体制運動の下での背景と関連づけながら考察する。</p> <p>⑤第二次世界大戦がおこった背景を理解し、その後の政治の推移を考察する。</p> <p>⑥日本とアメリカの対立は、どのような背景から生じたか、日米関係を基軸として考察する。</p> <p>⑦ドイツ・イタリアはヨーロッパでどのような動きをしていたか、その背景や理由を考察する。</p> <p>⑧日本国内における戦時下での国民の生活や、中国・朝鮮から動員された人々の生活について考察する。</p> <p>⑨第二次世界大戦は、戦後の世界にどのような影響を与えたか考察する。</p>	<p>を表現している。この時期の、日本の国民生活の変化について考察している。日本とアメリカの対立の背景を、日米関係を基軸にして、多角的に表現している。日米の主要物資の生産高を比較して、日米の差がどのくらいあったのかを考察し、表現している。【主体的に学習に取り組む態度】日中戦争の長期化は、日中両国の人びとや国際社会にどのような影響をもたらしたのか、多面的・多角的に追究しようとしている。三国同盟の締結が、イギリス・アメリカに対して与えた影響について追究しようとしている。第二次世界大戦の終結にいたる連合国側の会議について時系列にその内容を追究しようとしている。第二次世界大戦の結果、国際社会はどのように変化していくことになるかその嚆矢について追究しようとしている。</p>	○	○	○	8
	<p>【知識・技能】西側陣営、東側陣営によるそれぞれの防衛体制の構築について理解することができる。核兵器の独占がソ連に破られたことによりアメリカ社会が受けた衝撃を理解することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】ワルシャワ条約機構が結成された背景と、その影響について考察することができる。核兵器開発競争の過熱化が国際連合の下で、原子力発電の開発の本格化につながったことを考察することができる。【主体的に学習に取り組む態度】地図を活用し、西側陣営・東側陣営が構築した防衛体制とおもな紛争地点から、その意図を見出そうとしている。グラフから米ソの核開発競争の過熱化について見出すことができる。</p>	<p>①第二次世界大戦後の国際社会が、どのようにして新たな国際秩序を構築したかを考察する。</p> <p>②アメリカとソ連の対立の背景を理解して、ヨーロッパ諸国が受けた影響を考察する。</p> <p>③ドイツの戦後の占領分割について、連合国側とソ連のそれぞれの方法を考察する。</p> <p>④冷戦について、資本主義陣営と社会主義陣営にわかれた経緯を理解し、米ソが二大国となったことを理解する。</p>	<p>【知識・技能】西側陣営、東側陣営によるそれぞれの防衛体制の構築について理解している。核兵器の独占がソ連に破られたことによりアメリカ社会が受けた衝撃を理解している。【思考・判断・表現】ワルシャワ条約機構が結成された背景と、その影響について考察している。核兵器開発競争の過熱化が国際連合の下で、原子力発電の開発の本格化につながったことを考察している。【主体的に学習に取り組む態度】地図を活用し、西側陣営・東側陣営が構築した防衛体制とおもな紛争地点から、その意図を見出そうとしている。グラフから米ソの核開発競争の過熱化について見出そうとしている。</p>				4
合計							70

武蔵丘 高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学I

教科： 数学 科目： 数学I 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 8 組

使用教科書： ( NEXT 数学I (数研出版) )

教科 数学 の目標：

- 【知識及び技能】 事象を数学化したり、解釈したり、表現・処理をする技能を養う。
- 【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考察し、表現する力を養い、事象の本質を統合的・発展的に考察する力も養う。
- 【主体的に学習に取り組む態度】 数学の良さを認識する。また数学を活用し物事を判断する力とその粘り強さを養う。

科目 数学I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力】	【主体的に学習に取り組む態度】
数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析について基本的な概念、原理、法則を理解する。また、事象を数学化し、それをもとに解釈し、表現・処理ができるようにする。	命題の条件、結論に着目し、数や式を目的に応じて変形する力、図形の性質や計量について論理的に考察する力を身に付ける。また関数関係に着目し、事象を的確に表現し、考察できることから、データ処理において分析し、結果を批判的に考察し判断する力を養う。	数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的根拠をもとに判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり評価・改善する態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 第1章 数と式 ・式の計算・実数 ・1次不等式  【知識及び技能】 ・基本的な概念、原理、法則を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・数や式を目的に応じて変形する力 【主体的に学習に取り組む態度】 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり評価・改善する態度を養う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 整式の取り扱い、因数分解の習得と応用</li> <li>・ 実数、有理数、無理数などの概念を理解する</li> <li>・ 根号を含む式の計算の修得</li> <li>・ 2重根号の計算も扱う</li> <li>・ 1次不等式の解法とその応用</li> <li>・ 絶対値と場合分けの問題</li> </ul> ・教科書・CONNECT	【知識・技能】 ・ 関数に関する用語を理解している ・ 多項式について整理できる ・ 因数分解の公式、展開の公式が利用できる ・ 有理数・無理数の概念を理解できる ・ 平方根の意味、性質を理解している ・ 不等式の意味、そして解の意味を理解する ・ 絶対値の意味から絶対値を含む方程式や不等式を解くことができる。 【思考・判断・表現】 ・ 式の展開は分配法則を用いると必ずできることを理解している ・ 式を一つの文字におき計算を簡略化することができる。 ・ 複雑な式についても、項を組み合わせることで見通しをよくし、因数分解できる ・ 式の形に着目し、因数分解の公式が適用できるようにすることができる ・ 数直線を用いて、実数の大小関係・2点間の距離を読み取ることができる。 ・ 根号を含む式について一般化して考察することが出来る。 ・ 不等式の性質を数直線上の点と対応させて考察することが出来る。 ・ 身近な問題について、必要な条件を判断して1次不等式の問題に帰着させ、問題を解決することが出来る。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 授業中の宿題、定期考査前の課題を理解したうえで終わらせることが出来る。 ・ 考察しようとする力、自ら問題を理解し解決する意欲をつける。	○	○	○	18
定期考査			○	○		1
第2章 集合と命題  【知識及び技能】 ・ 基本的な概念、原理、法則を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 数や式を目的に応じて変形する力 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり評価・改善する態度を養う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用できる。</li> </ul> ・教科書・CONNECT	【知識・技能】 ・ 集合の表し方、2つの集合の関係を記号であらわすことが出来る。 ・ 共通部分、和集合、空集合、補集合について理解している。 ・ 命題の真偽、反例の意味を理解し、真偽を決定できる。 ・ 必要条件、十分条件、必要十分条件、同値の定義を理解している。 ・ 条件の否定、逆・裏・待遇の定義、ドモルガンの法則などを理解する。 ・ 対偶による証明法や背理法の仕組みを理解する。 【思考・判断・表現】 ・ 条件を満たすものを集合の要素としてとらえることが出来る。 ・ ベン図などを用いて、集合を視覚的に表現し考察することが出来る。 ・ 命題が偽であることを示すには、反例を1つあげれば良いことが理解できる。 ・ 命題の条件や結論に着目し、命題に応じて対偶の利用や背理法の利用を適切に判断することで、命題を証明することが出来る。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 授業中の宿題、定期考査前の課題を理解したうえで終わらせることが出来る。 ・ 考察しようとする力、自ら問題を理解し解決する意欲をつける。	○	○	○	8

1 学期

第3章 2次関数 ・2次関数とグラフ ・2次関数の値の変化  【知識及び技能】 ・基本的な概念、原理、法則を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・数や式を目的に応じて変形する力 【主体的に学習に取り組む態度】 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり評価・改善する態度を養う。	・2次関数の値の変化やグラフの特徴を理解する。 ・自ら2次関数のグラフをかき、それを読み取ることで問題の解決をする力を身につける。  ・教科書・CONNECT	【知識・技能】 ・関数、座標平面について理解している。 ・ $y = f(x)$ などの表を理解することが出来る。 ・定義域、値域が求められる。 ・2次関数の式の表記、グラフの平行移動が理解できている。 ・平方完成を利用して、2次関数のグラフの軸と頂点を調べ、グラフを書くことが出来る。 ・放物線の平行移動、対象移動が理解できている。 ・2次関数を式変形して、最大値、最小値を求めることが出来る。 ・2次関数の決定において、与えられた条件を関数の式に表現し、2次関数を決定することができる。 ・連立3元1次方程式の解き方を理解している。 【思考・判断・表現】 ・2つの変数の関係を関係式で表現できる。 ・2次関数の特徴について、表、式、グラフを相互に関連付けて多目的に考察することが出来る。 ・放物線の平行移動を、頂点の移動に着目して、考察することができる。 ・2次関数の値の変化をグラフから考察することができる。 ・定義域の変化によって、最大値、最小値を判断することができる。 ・具体的な事象を2次関数を用いて表現し、処理することができる。 ・2次関数の決定において、条件を処理するのに適した式の形を判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の宿題、定期考査前の課題を理解したうえで終わらせることが出来る。 ・考察しようとする力、自ら問題を理解し解決する意欲をつける。	○	○	○	14		
定期考査			○	○		1		
2 学 期	第3章 2次関数 第2節 2次方程式と2次不等式  第4章 図形と計量 第一節 三角比  【知識及び技能】 ・基本的な概念、原理、法則を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・数や式を目的に応じて変形する力 【主体的に学習に取り組む態度】 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり評価・改善する態度を養う。	・2次方程式や2次不等式の会と2次関数のグラフとの関係について理解させる。2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求められるようにする。  ・三角比の意味やその基本的な性質を理解させ、三角比の相互関係を理解させる。また最終的には、日常の事象を数学的にとらえ、三角比が使い問題解決できる力を養う。  ・教科書・CONNECT	【知識・技能】 ・2次方程式の解き方として、因数分解、解の公式を理解する。 ・2次方程式において、判別式を用いて、実数解の個数が出せるようになる。 ・2次関数のグラフとx軸との共有点の個数、座標を求めることが出来る。 ・2次不等式を解けるようになり、応用問題や連立不等式が解けるようになる。 【思考・判断・表現】 ・二次方程式が実数解や住改を持つための条件を式で示せる。 ・x軸との共有点や位置関係を判別式から判断できるようする。 ・2次不等式の解をグラフと関連させて判断できるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の宿題、定期考査前の課題を理解したうえで終わらせることが出来る。 ・考察しようとする力、自ら問題を理解し解決する意欲をつける。	○	○	○	12	
第4章 図形と計量 第一節 三角比  【知識及び技能】 ・基本的な概念、原理、法則を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・数や式を目的に応じて変形する力 【主体的に学習に取り組む態度】 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり評価・改善する態度を養う。	・三角比の意味やその基本的な性質を理解させ、三角比の相互関係を理解させる。また最終的には、日常の事象を数学的にとらえ、三角比が使い問題解決できる力を養う。  ・教科書・CONNECT	【知識・技能】 ・直角三角形において、正弦、余弦、正接が求められる。 ・三角比を用いて、測量などの応用問題が解ける。 ・三角比の相互関係を利用して、一つの値から残りの値が求められる。 ・座標を用いて、鈍角の三角比が求められる。 ・公式が利用できる。 【思考・判断・表現】 ・三角比の表を値の意味を考察できる。 ・三平方の定理を利用して三角比の相互関係を証明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の宿題、定期考査前の課題を理解したうえで終わらせることが出来る。 ・考察しようとする力、自ら問題を理解し解決する意欲をつける。	○	○	○	8		
定期考査			○	○		1		

<p>第4章 図形と計量 第二節 三角形への応用</p> <p>【知識及び技能】 ・基本的な概念、原理、法則を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・数や式を目的に応じて変形する力 【主体的に学習に取り組む態度】 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり評価・改善する態度を養う。</p>	<p>・図形の構成要素の関係を三角比を用いて表現し定理や公式を導けるようにする。 ・日常の事象や社会の事象を数学的にとらえ、正弦、余弦などを活用し問題を解決できるようにする。 ・教科書・CONNECT</p>	<p>【知識・技能】 ・正弦定理における<math>A=B=C=D</math>の形の関係式を適切に処理できる。 ・正弦定理を用いて、三角形の編の長さや外接円の半径が求められる。 ・余弦定理を用いて、三角形の編の長さ、角の大きさが求められる。 ・正弦定理や余弦定理を用いて、三角形の残りの編の長さ、角の大きさを求めることが出来る。 ・三角比を用いたり、3つの辺の長さから三角形の面積を求め、そこから内接円の変形を求めることが出来る。 ・三角比を利用し、正四面体などの体積を求めることができる。 ・三角比を計量に応用できる。 【思考・判断・表現】 ・三角形の辺と角、外接円の半径から正弦定理を導くことが出来る。 ・三平方の定理を利用して三角比の相互関係を証明することが出来る。 ・三角形の辺と角の間に成り立つ関係式として、余弦定理を導くことが出来る。 ・正弦定理から三角形の角の大きさについて考察することが出来る。 ・三角比と三角形の面積の関係を考察することが出来る。 ・三角形の面積を2つの三角形の面積の和に分けて考えることが出来る。 ・円に内接する四角形の面積を求める方法を考察できる。 ・空間図形への応用とし、三角形に着目して好悪刷ることが出来る。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の宿題、定期考査前の課題を理解したうえで終わらせることが出来る。 ・考察しようとする力、自ら問題を理解し解決する意欲をつける。</p>	○	○	○	9
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>第5章 データ分析 第二節 三角形への応用</p> <p>【知識及び技能】 ・基本的な概念、原理、法則を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・数や式を目的に応じて変形する力 【主体的に学習に取り組む態度】 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり評価・改善する態度を養う。</p>	<p>・データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察する力、目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択し、分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現する力、不確実な事象の起こりやすさに着目し、首長の妥当性について判断したり、批判的に考察する力などを養う。 ・教科書・CONNECT</p>	<p>【知識・技能】 ・度数分布表、ヒストグラムを理解している。 ・平均値や中央値などの定義や意味を理解し求めることが出来る。 ・範囲や四分位範囲の定義やその意味を理解し、それらを求めることが出来る。また、それをもとにデータの散らばりを比較することができる。 ・箱ひげ図をかき、データの分析を比較することが出来る。 ・偏差の定義とその意味を理解している。 ・分散、標準偏差の定義と意味を理解し求めることが出来る。 ・相関関係の定義とその意味を理解し、求めることが出来る。 ・相関関係から散布図の特徴を数値化し、その意味を理解する。 ・分割量を理解できる。 ・仮説検定の考え方を理解し、具体的な事象に当てはめて考えることが出来る。 【思考・判断・表現】 ・データの散らばり度合いをどのように数値化できるか考察する。 ・データの外れ値から、端梨乃背景を探る利点を考察できる。 ・変量の変化によって、平均値や標準偏差がどのように変化するかを考察することが出来る、それらの性質を活用して平均値や分散を見通しよく計算できる。 ・散布図を作成し、2つの変量の相関を考察することが出来る。 ・データの相関について、散布図や相関係数を利用してデータの相関をとらえ説明することが出来る。 ・複数のデータを散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析し、問題解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりすることが出来る。 ・不確実な事象の起こりやすさに着目し、実験などを通じて、問題の結論を判断したり、妥当性について批判的に考察することができる。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の宿題、定期考査前の課題を理解したうえで終わらせることが出来る</p>				8

		たぶん、飛びつせることが出来る。 ・考察しようとする力、自ら問題を理解し解決する意欲をつける。				
定期考査			○	○		1
						合計
						82

武蔵丘 高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学A

教科： 数学 科目： 数学A 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 8 組

使用教科書： （改訂版 NEXT 数学 I（数研出版））

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 事象を数学化したり、解釈したり、表現・処理をする技能を養う。

【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考察し、表現する力を養い、事象の本質を統合的・発展的に考察する力も養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学の良さを認識する。また数学を活用し物事を判断する力とその粘り強さを養う。

科目 数学A の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形の性質、場合の数と隔離についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。また数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、表現し、処理する技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見出し、数理的に考察する力を養う。	数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的根拠をもとに判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり評価・改善する態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第1章 場合の数 第一節 場合の数 ・集合の要素の個数 ・場合の数 ・順列 ・組合せ 【知識及び技能】 ・基本的な概念、原理、法則を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・数や式を目的に応じて変形する力 【主体的に学習に取り組む態度】 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり評価・改善する態度を養う。	・場合の数を求めるときの基本的な考え方についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。 ・教科書 ・CONNECT 数学 I + A	【知識・技能】 ・和集合や補集合について理解し、その要素の個数を求めることができる。 ・和集合、補集合の要素の個数の公式を利用できる。 ・ベン図を利用できる。 ・日常的な事象に対して、集合を用いることができる。 ・樹形図が使える。 ・和の法則、関野法則の利用場面を理解し、事象に応じて使い分けて場合の数を求めることができる。 ・順列の総数、階乗を記号で表し、それを活用できる。 ・順列、円順列、重複順列の公式を理解し、利用することができる。 ・条件付きの順列、円順列の条件の処理ができる。 ・組合せの総数を記号で表し、それを活用できる。また、組合せの公式を理解し、利用することができる。 ・組合せの総数を求めることができる。 ・同じものを含む順列の総数を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・ベン図を利用して集合を図示することで、集合の要素の個数を考察する。 ・場合の数を数える適切な方針を考察することができる。 ・自然数の正の約数の個数を数える方法を考察することができる。 ・条件がつく順列、円順列に対応できる。 ・順列の総数をもとにして、組合せの総数を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の宿題、定期考査前の課題を理解したうえで終わらせることができる。 ・考察しようとする力、自ら問題を理解し解決する意欲をつける。	○	○	○	9
定期考査			○	○		1
1 学期 第1章 場合の数 第二節 確率 ・事象と確率 ・確率の基本性質 ・独立な試行と確率 ・条件付き確率 ・期待値 【知識及び技能】 ・基本的な概念、原理、法則を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・数や式を目的に応じて変形する力 【主体的に学習に取り組む態度】 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり評価・改善する態度を養う。	・確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。 ・教科書 ・CONNECT 数学 I + A	【知識・技能】 ・確率の君、試行や事象の定義を理解する。 ・確率の定義を理解し、確率を求めることができる。 ・積事象、和事象の定義を理解している。 ・確率の基本性質を理解し、和事象、余事象の確率はもちろん、複雑な事象の確率が求められる。 ・独立な試行の確率を公式を用いて求める。 ・複雑な独立試行の確率や、加法定理などを用いて確率を求めることができる。 ・基本的な反復試行の確率から、複雑な反復試行の確率を公式を用いて求めることができる。 ・条件付き確率を記号を用いて表すことができる。 ・条件付き確率や確率の乗法定理を用いて確率の計算ができる。 ・期待値の定義を理解し、期待値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・試行の結果を事象としてとらえ、事象を集合と結び付けて考察することができる。 ・集合の性質を用いて、確率の性質を一般的に考察することができる。 ・独立な試行の確率を具体的な例をもとに直感的に考えることができる。 ・反復試行の確率を求めることができる。 ・既習の確率と条件付き確率の違いについて、図や表などを用いて考察することができる。 期待値の考えを用いてどの選択をすることが有理化判断することができる。	○	○	○	12

			【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の宿題、定期考査前の課題を理解したうえで終わらせることができる。 ・考察しようとする力、自ら問題を理解し解決する意欲をつける。						
	定期考査			○	○				1
2学期	第2章 図形の性質 第一節 平面図形 ・三角形の辺の比 ・三角形の外心・内心・重心 ・チェバの定理・メネラウスの定理 ・円の内接する四角形 ・円に内接する四角形 ・円と直線 ・2つの円 ・作図  【知識及び技能】 ・基本的な概念、原理、法則を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・数や式を目的に応じて変形する力 【主体的に学習に取り組む態度】 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり評価・改善する態度を養う。	・平面図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。  ・教科書 ・CONNECT数学I+A	【知識・技能】 ・線分の内分・外分、平行線と比など基本事項を理解している。 ・定理を利用し、線分の比や長さを求めることができる。 ・三角形の外心・内心・重心の定義を理解している。 ・チェバ・メネラウスの定理を理解している。 ・チェバ・メネラウスの定理を利用し、三角形の線分の比や面積比などを求めることができる。 ・三角形の散財条件や、偏と角の大小関係について理解している。 ・円周角の定理を理解している。 ・円に内接する四角形の性質を利用することができる。 ・円の接線の性質を利用して、線分の長さを求めることができる。 ・方べきの定理を利用して、線分の長さを求めることができる。 ・2つの円が内接しているとき成り立つ性質を利用して角度を求めることができる。 ・共通接線の定義を理解し、その長さの求め方がわかる。 ・中学校で学んだ作図を知っている。  【思考・判断・表現】 ・図形の性質を証明するのに、既習のことを論理的に考察することができ、また補助線を引いて考察することができる。 ・図形の性質を証明するのに、チェバ・メネラウスの定理を論理的に考察し、証明することができる。 ・円に内接する四角形の性質を論理的に考察することができる。 ・円と直線を動的にとらえて、それらの位置関係を考察することができる。 ・方べきの定理について対象となる図形に応じて考えることができる。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の宿題、定期考査前の課題を理解したうえで終わらせることができる。 ・考察しようとする力、自ら問題を理解し解決する意欲をつける。	○	○	○		14	
	定期考査			○	○			1	
	第2章 図形の性質 第二節 空間図形 ・直線と平面 ・空間図形と多面体  【知識及び技能】 ・基本的な概念、原理、法則を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・数や式を目的に応じて変形する力 【主体的に学習に取り組む態度】 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり評価・改善する態度を養う。	・空間図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察の活用できるようにする。  ・教科書 ・CONNECT数学I+A	【知識・技能】 ・空間における2直線の位置関係やなす角を理解している。 ・正多面体の特徴を理解し、それにもとづいて、面、頂点、辺の数を求めることができる。  【思考・判断・表現】 ・空間における直線と平面が垂直になるための条件を考察することができる。 ・空間における直線や平面が平行または垂直となるか与えられた条件から考察することができる。  【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業中の宿題、定期考査前の課題を理解したうえで終わらせることができる。 ・考察しようとする力、自ら問題を理解し解決する意欲をつける。	○	○	○		4	
第3章 数学と人間の活動 ・約数と倍数 ・素数と素因数分解 ・最大公約数・最少公倍数 ・整数の割り算 ・ユークリッド互余法  【知識及び技能】 ・基本的な概念、原理、法則を理解する 【思考力、判断力、表現力等】	・さまざまな人間の活動の中から、整数を中心とした数学的な要素を見出し、数学の内容の理解を深めると同時に、現実の事象を数学を用いて考察できる力をつける。  ・教科書 ・CONNECT数学I+A	【知識・技能】 ・約数・倍数の意味を理解している。 ・いろいろな数の倍数の判定法を理解している ・自然数の素因数分解を求めることができる。 ・自然数の正の約数やその個数を求めるのに、素因数分解を利用することを理解している ・互いに素の意味を理解している。 ・整数の割り算において、割る数、割られる数、商、あまりの関係性を理解している。 ・互除法の原理を理解し、互除法を用いて2数の最大公約数を求めることができる。							



武蔵丘 高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 理科 科目 化学基礎

教科：理科 科目：化学基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～8組

使用教科書：（化学基礎academia新訂版 実教出版）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】 自然の事物・事象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、現象などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
物質とその変化について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 また、物質とその変化に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能の基礎を身に付けている。	物質とその変化の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>物質の構成粒子や量的関係に関する基本的な概念や原理・法則を理解し知識を身につける。</li> <li>熱運動と物質の三態との関係から、代表的な物質について、常温、常圧での状態を理解し、知識として身につける。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>原子は原子核と電子からなっていて、電子の状態が物質の性質に関与していることを考察する力を養う。</li> <li>物質の状態変化は、構成粒子の分子運動に関係し、それが温度や圧力によるものであることを論理的、総合的に判断する力を養う。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>物質に関心をもち、物質が原子・分子・イオンなどの構成粒子からなっていることを探究する態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>物質の成分と分離</li> <li>物質の構成と元素</li> <li>物質の状態変化と熱運動</li> <li>原子の構造</li> <li>電子配置と周期表</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>物質の構成粒子や量的関係に関する基本的な概念や原理・法則を理解し知識を身に付けている。</li> <li>熱運動と物質の三態との関係から、代表的な物質について、常温、常圧での状態を理解し、知識として身に付けている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>原子は原子核と電子からなっていて、電子の状態が物質の性質に関与していることを考察できる</li> <li>物質の状態変化は、構成粒子の分子運動に関係し、それが温度や圧力によるものであることを論理的、総合的に判断できる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>物質に関心をもち、物質が原子・分子・イオンなどの構成粒子からなっていることを探究しようとしている。</p>	○	○	○	12
	<p>【知識・技能】</p> <p>物質の構成粒子の違いによる結合・結晶の差異を、代表的な物質から具体的に理解し、知識を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>物質の性質は、イオン結合、共有結合、金属結合などの結合の違いによって異なることを、代表的な物質の性質の比較から推論する力を養う。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>物質の構造は、イオン結合、共有結合、金属結合などの結合の仕方の違いに関わりがあることを、意欲的に探究する態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イオン結合</li> <li>分子と共有結合、構造式</li> <li>共有結合でできた物質</li> <li>金属結合</li> <li>結晶の比較</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <p>物質の構成粒子の違いによる結合・結晶の差異を、代表的な物質から具体的に理解し、知識を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>物質の性質は、イオン結合、共有結合、金属結合などの結合の違いによって異なることを、代表的な物質の性質の比較から推論できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>物質の構造は、イオン結合、共有結合、金属結合などの結合の仕方の違いに関わりがあることを、意欲的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	14
2 学 期	<p>【知識・技能】</p> <p>化学式を使用できるとともに、原子量、分子量、式量と物質量の知識を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>原子量・分子量・式量と物質量の定義を理解し、物質量を用いた基本的な計算ができ、化学変化には一定の量的関係があることを考察できる。また、物質量と溶液の濃度の関係を考察する力を養う。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>代表的な物質の化学変化に注目し、化学変化の量的関係を物質量と関連付けて考察しようとするとともに、意欲的にそれらを探究する態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>原子の相対質量と原子量・分子量・式量</li> <li>物質量と化学の基本法則</li> <li>溶解と溶液の濃度</li> <li>化学変化と化学反応式の量的な関係</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <p>化学式を使用できるとともに、原子量、分子量、式量と物質量の知識を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>原子量・分子量・式量と物質量の定義を理解し、物質量を用いた基本的な計算ができ、化学変化には一定の量的関係があることを考察できる。また、物質量と溶液の濃度の関係を考察できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>代表的な物質の化学変化に注目し、化学変化の量的関係を物質量と関連付けて考察しようとするとともに、意欲的にそれらを探究しようとしている。</p>	○	○	○	14
	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>酸・塩基の定義を理解し、日常生活と関連づけて酸・塩基反応を捉える。</li> <li>酸塩基指示薬やpH計算方法を習得する。</li> <li>実験器具の取り扱いができること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>酸と塩基</li> <li>水素イオン濃度とpH</li> <li>中和反応と塩</li> <li>中和滴定と滴定曲線</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>酸・塩基の定義を理解し、日常生活と関連づけて酸・塩基反応を捉えることができる。</li> <li>酸塩基指示薬やpH計算方法を習得している。</li> <li>実験器具の取り扱いができると同時に、実験結果から濃度未知の酸や塩基の濃度を求める技能を修得している。</li> </ul>				

	<p>時に、実験結果から濃度未知の酸や塩基の濃度を求める技能を修得する。</p> <p>【思考・判断・表現】 酸・塩基の観察、実験をもとに共通性を見出し、日常生活と関連付けて酸・塩基反応を考察できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 酸・塩基や中和反応に関心をもち、それらを日常生活に関連づけて意欲的に探究する態度を養う。</p>	<p>【思考・判断・表現】 酸・塩基の観察、実験をもとに共通性を見出し、日常生活と関連付けて酸・塩基反応を考察できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 酸・塩基や中和反応に関心をもち、それらを日常生活に関連づけて意欲的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	14	
3 学 期	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電子の授受や酸化数の変化から酸化還元反応を理解し、知識を身につける。</li> <li>代表的な酸化剤、還元剤の酸化還元反応の化学反応式を書くことができる。</li> <li>金属のイオン化傾向とそれによる反応性の違いを理解する。</li> <li>実用電池や電気分解、金属の製錬など身近に酸化還元反応がどのように利用されているか知る。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】 さまざまな観察、実験を通し、酸化・還元反応の定義と酸化数の定義の有効性を理解し、共通性を見だし、論理的に考察する力を養う。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 身近な現象と酸化還元反応を関連づけて意欲的に探究する態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>酸化と還元</li> <li>酸化剤・還元剤</li> <li>酸化還元滴定</li> <li>金属のイオン化傾向と反応性</li> <li>電池の仕組み</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電子の授受や酸化数の変化から酸化還元反応を理解し、知識を身につけている。</li> <li>代表的な酸化剤、還元剤の酸化還元反応の化学反応式を書くことができる。</li> <li>金属のイオン化傾向とそれによる反応性の違いを理解している。</li> <li>実用電池や電気分解、金属の製錬など身近に酸化還元反応がどのように利用されているのかを知っている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】 さまざまな観察、実験を通し、酸化・還元反応の定義と酸化数の定義の有効性を理解し、共通性を見だし、論理的に考察できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 身近な現象と酸化還元反応を関連づけて意欲的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	16
	合計					70	

**武蔵丘 高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 理科 科目 生物基礎**

教科：理科 科目：生物基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

使用教科書：（ 実教出版 生物基礎 ）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探求しようとする態度を養う。

科目 生物基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生命現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	・生物や生命現象に主体的に関わり、科学的に探求しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 生物の特徴 生物の多様性と共通性 【知識及び技能】・生物が多様でありながら共通性をもっていることを理解させる。 ・生物に共通する性質は細胞であり、細胞にも原核細胞と真核細胞があることを細胞の内部構造とともに理解させる。 ・地球上の全生物のエネルギーの物質がATPであることを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】・生物が共通性を保ちながら進化し多様化してきたこと、共通性は起源の共有に由来することを理解させる。 ・エネルギーの流れと代謝との関係を理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】授業や観察・実験を通して科学的な探究力や見通しをもった主体的態度を育成する。生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	1章 生物の特徴 1節 生物の多様性と共通性 2節 生命とエネルギー ・教材 教科書、資料集、問題集 ・デジタル端末、顕微鏡等実験器具 ・主な観察、実験実習、考察学習	【知識・技能】・生物の共通性と多様性について、すべての生物で細胞が共通の構造であることを理解している。 ・原核細胞と真核細胞の違いについて、それらの細胞に含まれる細胞小器官の違いとともに理解している。 ・生命活動に必要なエネルギーを、呼吸や光合成から得ていることを理解している。 ・生体内で行われる化学反応は、酵素が触媒していることを理解している。 ・試料の採取、染色などを行い、光学顕微鏡で観察する技能を習得している。 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】生物の特徴に関する事物・現象について主体的に関り、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
1 学 期	B 遺伝子とその働き 【知識及び技能】・DNAの構造や性質を、研究史を展開しながら理解させる。 ・DNAの複製・分裂は細胞周期に行われることを理解させる。 ・DNAからタンパク質が合成される際には、転写・翻訳が行われることを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】・DNA、遺伝子、ゲノムの関係性を理解させる。 ・DNAが体細胞分裂の際に、複製された質・量ともに均等に分配されることにより遺伝情報が伝えられることを理解させる。 ・さまざまな生命現象にはタンパク質が関わっていることに触れ、それらタンパク質がDNAの遺伝情報に基づいて合成されることを理解させる。 ・すべての遺伝子が細胞内でつねに発現しているわけではないことを理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】授業や観察・実験を通して科学的な探究力や見通しをもった主体的態度を育成する。生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	2章 遺伝子とそのはたらき 1節 遺伝情報とDNA 2節 遺伝情報とタンパク質の合成 ・教材 教科書、資料集、問題集 ・デジタル端末、顕微鏡等実験器具 ・主な観察、実験実習、考察学習	【知識・技能】・DNAが二重らせん構造であること、そのため、2本鎖の塩基配列は相補的であることを理解している。 ・ゲノム、遺伝子、染色体、DNAの関係を理解している。 ・体細胞分裂が行われる際に、遺伝情報の同一性が保たれることを理解している。 ・DNAの塩基配列に基づいて、タンパク質が合成されることを理解している。 ・生物の組織からDNAを抽出する技能を習得している。 【思考・判断・表現】・DNAの性質や構造を、DNAの研究史とともに理解しようとする。 ・ゲノムと遺伝子、染色体、DNAの関係について理解しようとする。 ・体細胞分裂が行われる際に、DNAが複製されて遺伝情報の同一性が保たれることを理解しようとする。 ・DNAの塩基配列の情報に基づいて、タンパク質が合成されることを理解しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】・DNAの性質や構造を、DNAの研究史とともに理解しようとする。 ・ゲノムと遺伝子、染色体、DNAの関係について理解しようとする。 ・体細胞分裂が行われる際に、DNAが複製されて遺伝情報の同一性が保たれることを理解しようとする。 ・DNAの塩基配列の情報に基づいて、タンパク質が合成されることを理解しようとする。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
2 学 期	C ヒトのからだの調節 【知識及び技能】・ヒトの体液濃度の調節に欠かせない、自律神経と内分泌系に関する基礎的なしくみを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】ヒトの体液濃度の調節が、自律神経とホルモンの作用により一定の範囲に保たれていることを理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】授業や観察・実験を通して科学的な探究力や見通しをもった主体的態度を育成する。	3章 ヒトのからだの調節 1節 体内環境 2節 体内環境の維持のしくみ ・教材 教科書、資料集、問題集 ・デジタル端末、顕微鏡等実験器具 ・主な観察、実験実習、考察学習	【知識・技能】 ・体内環境が一定の範囲に保たれることを理解している。 ・腎臓での塩類濃度の調節や、肝臓による物質の合成・分解などのしくみを理解している。 ・ホルモンの分泌により血流量が保たれることを理解しており、ホルモンの分泌不足による発症する疾患についての知識を得ている。 ・解剖など生体を扱う技能を習得している。 ・複数の実験により得られたデータを比較・分析することにより、結論を導き出すことができる。 【思考・判断・表現】 ・腎臓の塩類濃度調節や体温の調節が、臓器や細胞から分泌されるホルモンなどの物質により調節されていることを考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・外界の環境が変化しても、体内環境は一定の範囲に保たれていることを理解しようとする。 ・腎臓による塩類濃度調節や、肝臓による物質の合成・分解などのしくみを理解しようとする。 ・ホルモンの分泌により血流量が保たれており、ホルモンの	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
2 学 期	C ヒトのからだの調節 【知識及び技能】 ・血糖量や体温の調節、免疫系について	3章 ヒトのからだの調節 3節 免疫 ・教材					

	<p>理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体液濃度の調節がさかなくなったときに発症する疾患について、その発祥の仕組みを内臓とともに説明できる。</li> <li>・免疫系について説明できる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生命を尊重し自然環境の保全に寄与する態度を養う。</li> </ul>	<p>教科書、資料集、問題集</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル端末、顕微鏡等実験器具</li> <li>・主な観察、実験実習、考察学習</li> </ul>	<p>センの分泌により血糖値が保たれており、ホルモンが不足により発症する疾患について調べる。</p>	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
3 学 期	<p>D 生物の多様性と生態系</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・植物の遷移やバイオーム、生態系の基本的な仕組みや概念、エネルギーの動きなどそれらの関連性を理解する。</li> <li>・生態系のバランスが壊れる基本的な法則や概念、生態系の保全に関しての方法やしくみを理解する。</li> <li>・実験操作の技能を習得している。実験考察する能力や科学的素養が身につける。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・植生遷移等の概念や機能をさまざまに関連付けながら問題を扱い、判断し思考できる。</li> <li>・生態系についてのしくみを科学的に捉え、説明できる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生態系の保全について、生態系のしくみについて授業や実験を通して主体的に学べる。</li> <li>・生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</li> </ul>	<p>4章 生物の特徴</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1節 生態系とその成り立ち</li> <li>2節 植生とバイオーム</li> <li>3節 生態系と生物の多様性</li> <li>4節 生態系のバランスと保全</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材</li> <li>教科書、資料集、問題集</li> <li>・デジタル端末、顕微鏡等実験器具</li> <li>・主な観察、実験実習、考察学習</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・陸上には、相親と多くの植生、気温や降水量ことによるバイオーム、窒素や炭素の物質循環について理解している。</li> <li>・インターネットや文献などを用いて、調査する方法を習得している。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・物質の循環を体系的に考察できる。</li> <li>・生態系の保全の重要性について、生物の多様性の視点から考察することができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生態系のバランスについてや物質循環が重要であることを理解しようとする。</li> <li>・情報を収集しまとめられる。</li> </ul>	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
							56

武蔵丘 高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 芸術 科目 音楽 I

教科： 芸術 科目： 音楽 I 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 8 組

使用教科書： （ 教育芸術社MOUSA 1 ）

教科 芸術 の目標：

- 【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や、文化歴史的背景等と関わり及び本学の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。	個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。	主体的、共同的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		歌	器	創						
1 学 期	曲に相応しい発声で表情豊かに歌おう。 【知識及び技能】曲想と音楽の構造や歌詞との関わりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】曲に相応しい発声、言葉の発音、体の使い方などの技能を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】自己のイメージを持って歌唱表現を創意工夫する。	・校歌 ・校歌(4声合唱)	○		○	【知識及び技能】曲想と音楽の構造や歌詞との関わりを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】曲に相応しい発声、言葉の発音、体の使い方などの技能を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】自己のイメージを持って歌唱表現を創意工夫している。	○	○	○	6
	表現を工夫して、リコーダーを演奏しよう。 【知識及び技能】曲想と音色や奏法との関わりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】曲に相応しい奏法、体の使い方などの技能を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】他者と共同しながら、自己のイメージを持って表現の創意工夫する。	・リコーダーの楽曲 ・ソルフェージュ		○	○	【知識及び技能】曲想と音色や奏法との関わりを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】曲に相応しい奏法、体の使い方などの技能を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】他者と共同しながら自己のイメージを持って表現の創意工夫している。	○	○	○	6
	表現を工夫して、ギターを演奏しよう。 【知識及び技能】曲想とギターの音色や奏法との関わりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】曲に相応しい奏法、体の使い方などの技能を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】自己のイメージを持って器楽表現を創意工夫する。	・ギターの楽曲 ・ソルフェージュ		○	○	【知識及び技能】曲想とギターの音色や奏法との関わりを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】曲に相応しい奏法、体の使い方などの技能を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】自己のイメージを持って器楽表現を創意工夫している。	○	○	○	6
	諸外国の歌曲に親しみ、表現を工夫して歌おう。 【知識及び技能】曲想と音楽の構造や、歌詞、文化歴史的背景との関わりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】曲に相応しい発声、言葉の発音、体の使い方など技能を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】自己のイメージを持って歌詞を表現を創意工夫する。	・世界の歌曲 ・ソルフェージュ	○		○	【知識及び技能】曲想と音楽の構造や、歌詞、文化歴史的背景との関わりを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】曲に相応しい発声、言葉の発音、体の使い方など技能を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】自己のイメージを持って歌唱表現を創意工夫している。	○	○	○	6
2 学 期	日本歌曲に親しみ、表現を工夫して歌おう。 【知識及び技能】曲想と音楽の構造や、歌詞、文化歴史的背景との関わりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】曲に相応しい発声、言葉の発音、体の使い方など技能を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】自己のイメージを持って歌詞を表現を創意工夫する。	・日本歌曲	○		○	【知識及び技能】曲想と音楽の構造や、歌詞、文化歴史的背景との関わりを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】曲に相応しい発声、言葉の発音、体の使い方など技能を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】自己のイメージを持って歌唱表現を創意工夫している。	○	○	○	8
	和楽器に親しみ、演奏に挑戦しよう。 【知識及び技能】曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】曲に相応しい奏法、体の使い方の議論を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】自己のイメージを持って器楽表現を創意工夫する。	・箏の楽曲		○	○	【知識及び技能】曲想と楽器の音色や奏法との関わりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】曲に相応しい奏法、体の使い方など技能を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】自己のイメージを持って器楽表現を創意工夫する。	○	○	○	8
	ギター弾き語り挑戦しよう。 【知識及び技能】曲想とギターの音色や奏法との関わりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】曲に相応しい奏法、体の使い方などの技能を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】自己のイメージを持って器楽表現を創意工夫する。	・ギターの弾き語り		○	○	【知識及び技能】曲想とギターの音色や奏法との関わりを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】曲に相応しい歌唱、奏法、体の使い方などの技能を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】自己のイメージを持って歌唱表現、器楽表現を創意工夫している。	○	○	○	8
	表現を工夫して合唱をしよう。 【知識及び技能】合唱による表現の特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】楽曲の特徴をいかして歌ったり、他者との調和を意識して歌う技能を身に付ける。	・合唱曲	○		○	【知識及び技能】合唱による表現の特徴を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】楽曲の特徴をいかして歌ったり、他者との調和を意識して歌う技能を身に付けている。	○	○	○	4



武蔵丘 高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 芸術 科目 美術 I

教科： 0 科目： 美術 I 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 8 組

使用教科書： ( 『高校生の美術 I』 )

教科 芸術 の目標：

- 【知識及び技能】様々な画材の基本的な使用法を習熟する。
- 【思考力、判断力、表現力等】視覚を中心とした感性を生かし、美を表現し味わう体験を重ねる。
- 【学びに向かう力、人間性等】美と接することを愛好し、生活の中で美しさを追求する姿勢を培う。

科目 美術 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
アクリル・ガッシュ、マスキングテープ、画用紙・ケント紙・洋紙・キャンパス等の支持体、スタイロフォーム、油彩絵具等の用具使用を体験し、それぞれの特徴を把握し使用法に習熟する。また古今東西の名作について興味の幅を拡大し、鑑賞に必要な基礎知識を習得する。	芸術的思考力といえる自己の視覚を中心とした五感を動員し、様々な素材を使った鑑賞・表現を通して美を追求する。	自身の得意・不得意を越えて美と接することを愛好し生活の中で美しさを追求する姿勢を培う。自身と他者の作品、古今の名作等の鑑賞に対し主体的・積極的な態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
オリエンテーション 【知識及び技能】 ・年間の授業の受け方やリズムや美術教室や用具の基本的な種類を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・中学校までで習得した描写力を発揮する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・意欲的にオリエンテーションに参加し履修する仲間と前向きな受講をする態度を養う。	・自己紹介	【知識及び技能】 ・指示通りの移動や用具の準備を行える。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の手を「見えた通り」描くために先入観なくモチーフの手を見つめ、中学校までに学んだ描画力を全て発揮できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自己紹介を通じて、主体的に仲間や用具と関わることができる。	○	○	○	2
平面色彩構成によるバッグデザイン 【知識及び技能】 ・マスキングテープやアクリル・ガッシュ等用具の基本的な使用法を学ぶ。 ・単元の目的を理解し、ケント紙に正しく設定寸法の画面を描出する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自ら設定したテーマにふさわしい画面分割と色彩配置について色鉛筆や配色カードを駆使して試行から決定、完成へのプロセスをなぞる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・多くアイデアスケッチを作成し本番の完成度を高める。	・八つ切りケント紙へ「参考にしたデザインを模して、名前のレタリングと平面色彩構成でデザインすることができる。	【知識及び技能】 ・正しく題材を理解しその設定に沿って、自ら適切なモチーフの構造を理解し、イメージに合わせた構成ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・学んだ色彩の要素を駆使しながら魅力的な色彩配置の構成を描出できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・インターネット等を使用して積極的に自然物の形態を調べモチーフ化できる。 ・自己や他者の作品に関心を持ちよいところを取り入れることができる。	○	○	○	12
新聞ファッションショー 【知識及び技能】 ・新聞紙の特性を理解し、装飾に合わせた折り方、接着をすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・洋服としての機能面を保ち、イメージに合わせて、装飾することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・モデルとスタイリストに分かれて、それぞれが協力し、積極的な意見を出しながら作り上げることができる。	3人一組で新聞紙とテープのみで、服を作る	【知識及び技能】 ・新聞紙の特性を理解し、装飾に合わせた折り方、接着をすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・洋服としての機能面を保ち、イメージに合わせて、装飾することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・モデルとスタイリストに分かれて、それぞれが協力し、積極的な意見を出しながら作り上げることができる。	○	○	○	2
フィギア塑像 【知識及び技能】 ・平面を立体的にとらえ、粘土の量を調整しながら形作る 【思考力、判断力、表現力等】 ・モチーフに合わせて細かな動きや、着色をし、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・モチーフをよく観察し、細部まで粘り強く制作することができる。	フィギモクレイを使ってフィギアづくり	【知識及び技能】 ・形状に合わせて、芯材を形成することができる。立体的に形を理解し、肉付けすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・モチーフの特徴に合わせて、動きを工夫したり、関節やポーズによってできた皺を表現することができる。 ・自立させることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・完成まであきらめずに取り組む。 ・モチーフをよく観察し、細部までこだわることができる。				12

前期	<p>クレイアニメーション</p> <p>【知識及び技能】 ・ストーリー構成、撮影、編集、 について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ストーリー後世に合わせて、コマ 数を調整し、効果的な編集をす ることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・グループで協力し、自分の役職 を理解して作品を完成させること ができる。</p>	<p>コマドリによるアニメーション制 作</p>	<p>【知識及び技能】 ・コマドリの特徴を理解し、各シーンの撮影 をすることができる。 ・起承転結のあるストーリーにすることがで きる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・画角、照明、テンポなどを工夫し、ストー リーを効果的に伝わるように工夫すること ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・役職の責任感をもち、グループ内で協力し て作らげることができる。</p>	○	○	○	14
3 学期	<p>油彩画</p> <p>【知識及び技能】 ・油彩画特有の用具について把握 し正しい用具の使用法を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 ・静物モチーフを十分に見つめ、 ヴァルールやトーンを工夫して室 内写生することを学ぶ。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・完成まであきらめずに取り組 む。用具の片付け作業を次回への 備えとし他者への配慮も学ぶ。</p>	<p>F8号のキャンバスを使い室内モ チーフ（静物）を油彩絵具で写生</p>	<p>【知識及び技能】 ・筆・キャンバス・オイル等油彩画特有の用 具と地塗りの効果等について正しく把握して いる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・油彩絵具の持つ質量を活用し重量感と存在 感のある静物写生を実践している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・他者作品をよく参考にし、描き始めから完 成まで常に良いものを取り入れる姿勢を養 う。</p>	○	○	○	12
							合計
							54









<p>ここ、確認してやっという事体について、具体例や理由とともに自分の考えや気持ちを伝える。 授業で理解したことを、自分の言葉で説明する。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の経験したこと、やり終わったこと、継続してやっている事などについて、具体例や理由とともに自分の考えや気持ちを伝えようとしている。 授業で理解したことを、自分の言葉で説明するために、様々な教材や参考書を使って理解を深めようとしている。</p>						<p>することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の経験したこと、やり終わったこと、継続してやっている事などについて、具体例や理由とともに自分の考えや気持ちを伝えようとしている。 授業で理解したことを、自分の言葉で説明するために、様々な教材や参考書を使って理解を深めようとしている。</p>			
<p><b>Lesson 5 What do you want to do after high school?</b></p> <p>【知識・技能】 助動詞(能力・許可・推量・義務・禁止・助言・命令・忠告・意志・拒絶・過去の習慣や状態)の意味や用法、表現を理解することができる。 【思考・判断・表現】 自分や相手の義務や能力、友達への助言や自分の意思について、具体例や理由とともに自分の考えや気持ちを伝える。 授業で理解したことを、自分の言葉で説明する。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分や相手の義務や能力、友達への助言や自分の意思について、具体例や理由とともに自分の考えや気持ちを伝えようとしている。 授業で理解したことを、自分の言葉で説明するために、様々な教材や参考書を使って理解を深めようとしている。</p>	助動詞					<p>【知識・技能】 助動詞(能力・許可・推量・義務・禁止・助言・命令・忠告・意志・拒絶・過去の習慣や状態)の意味や用法、表現を理解することができる。 【思考・判断・表現】 自分や相手の義務や能力、友達への助言や自分の意思について、具体例や理由とともに自分の考えや気持ちを伝えることができる。 授業で理解したことを、自分の言葉で説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分や相手の義務や能力、友達への助言や自分の意思について、具体例や理由とともに自分の考えや気持ちを伝えようとしている。 授業で理解したことを、自分の言葉で説明するために、様々な教材や参考書を使って理解を深めようとしている。</p>			10
<p>定期考査</p>									1
<p><b>Lesson 6 Did you hear about the new shop?</b></p> <p>【知識・技能】 受動態の意味や用法、表現を理解することができる。 【思考・判断・表現】 身の回りや最近起こった事など日常的话题について、具体例や理由とともに自分の考えや気持ちを伝える。 授業で理解したことを、自分の言葉で説明する。 【主体的に学習に取り組む態度】 身の回りや最近起こった事など日常的话题について、具体例や理由とともに自分の考えや気持ちを伝えようとしている。 授業で理解したことを、自分の言葉で説明するために、様々な教材や参考書を使って理解を深めようとしている。</p>	受動態					<p>【知識・技能】 受動態の意味や用法、表現を理解することができる。 【思考・判断・表現】 身の回りや最近起こった事など日常的话题について、具体例や理由とともに自分の考えや気持ちを伝えることができる。 授業で理解したことを、自分の言葉で説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身の回りや最近起こった事など日常的话题について、具体例や理由とともに自分の考えや気持ちを伝えようとしている。 授業で理解したことを、自分の言葉で説明するために、様々な教材や参考書を使って理解を深めようとしている。</p>			
<p><b>Lesson 7 I'm happy to have you with us.</b></p> <p>【知識・技能】 to不定詞や原形不定詞の意味や用法、表現を理解する。 【思考・判断・表現】 自分のすべきもしくはすべきでないこと、目標や将来の夢などについて、具体例や理由とともに自分の考えや気持ちを伝える。 授業で理解したことを、自分の言葉で説明する。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分のすべきもしくはすべきでないこと、目標や将来の夢などについて、具体例や理由とともに自分の考えや気持ちを伝えようとしている。 授業で理解したことを、自分の言葉で説明するために、様々な教材や参考書を使って理解を深めようとしている。</p>	不定詞					<p>【知識・技能】 to不定詞や原形不定詞の意味や用法、表現を理解することができる。 【思考・判断・表現】 自分のすべきもしくはすべきでないこと、目標や将来の夢などについて、具体例や理由とともに自分の考えや気持ちを伝えることができる。 授業で理解したことを、自分の言葉で説明する。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分のすべきもしくはすべきでないこと、目標や将来の夢などについて、具体例や理由とともに自分の考えや気持ちを伝えようとしている。 授業で理解したことを、自分の言葉で説明するために、様々な教材や参考書を使って理解を深めようとしている。</p>			9



